

令和6年度第2回日野市入札及び契約等監視委員会議事概要

|  |   |
|--|---|
| 開催日時場所   | 令和7年1月8日(水) 14時～16時<br>日野市役所本庁舎5階 501会議室  |
| 出席委員   | 委員長 藤村 和正 (明星大学建築学部教授)<br>委員 藤澤 整 (弁護士 シャローム法律事務所)<br>委員 蝦名 潤 (税理士 蝦名・加瀬会計事務所)  |
| ◆議事次第  |   |
| 1. 開会  |   |
| 2. 審議事項  |   |
| (1) 対象案件の概要及び対象案件一覧について  |   |
| (2) 抽出案件(審議事項)について   |   |
| (3) 総合評価方式(委託・工事)の検討について   |   |
| 3. その他   |   |
| (1) 工事案件の入札に関するアンケートについて   |   |
| 4. 閉会  |   |
| 4. 審議事項  |   |
| (1) 対象案件の概要について  |   |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の対象は、令和6年7月1日から12月31日までに締結した契約。</li> <li>・総件数としては、361件、昨年と比較し36件の増加。</li> <li>・主な増加要因は以下のような状況であった。</li> </ul> 委託：樹木伐採業務委託、選挙関係、ワクチン予防接種関係などで増加。<br>賃貸借：再リース、施設予約システムなどで増加。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・落札率50%未満の契約は委託で4件、落札率は低いものの、いずれも問題なく履行している状況。</li> </ul> |
| (2) 抽出案件(審議事項)について   |   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木緊急点検・剪定業務委託</li> </ul> (・本業務については、1者では対応しきれない業務であったため、決定した単価について、決定業者以外の業者へ決定単価で受託することが可能かどうかの減価交渉を実施し、承諾を得た複数業者と随意契約する方式を採用した。) |   |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最低単価が極端に低かった場合、人件費に影響があるのではないか。</li> </ul>  |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札金額については、事業者が人件費も考慮し入札している為、問題ないと思われる。</li> <li>・ただし、極端に低い金額での落札の場合、今回のような減価交渉による複数随意契約をする場合は、落札した業者以外の業者の同意を得られないかもしれないという課題がある。</li> </ul>   |
| 委員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一方で入札金額が高くなることもあるのではないか。</li> </ul>   |
| 事務局  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計金額(予算の範囲)内での入札になるため、それ以上の金額になることはない。</li> </ul>   |

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| 委員                              | ・設定金額の適正さが大事になると思うがどう積算しているのか。  |
| 事務局                             | ・工事や今回の樹木の剪定・点検委託は、東京都の設計単価を基に積算しているが、一般的な委託については、参考見積りなどを徴取した上で、設計金額を決めている。  |
| 委員                              | ・樹木の剪定箇所、剪定状況は把握されているのか。  |
| 事務局                             | ・主管課で把握している。  |
| 委員                              | ・来年度も同じような形で実施をしていく予定か。   |
| 事務局                             | ・今年度、この複数随意契約の形で業務が順調に進んでいると主管課より聞いているので、来年度も同じ形で実施する予定。  |
| <b>(3) 総合評価方式（委託・工事）の検討について</b> |   |
| 事務局                             | <p>&lt;工事&gt;総合評価方式の改訂について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事の品質確保、「格差是正」への取り組みを目的に総合評価方式を導入した。</li> <li>・現在は市内業者で施工ができる工事のうち下記が総合評価方式を適用する案件となっている。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①建築工事及び土木工事（上・下水道工事を含む）<br/>設計金額 1000 万円以上 3 億円未満</li> <li>②その他の工事<br/>設計金額 1000 万円以上 1.5 億円未満</li> </ul> </li> <li>・事業者や工事主管課より、総合評価方式のあり方についての意見が多いこと、導入時からほとんど評価項目が変更していないなど、変更することが望ましい状況となっている。</li> <li>・総合評価の改訂に向けて、今後議論を深めていきたい。</li> </ul> |
| 委員                              | ・評価項目にある工事成績は誰が実施しているのか。  |
| 事務局                             | ・検査官と工事担当課の職員が工事を評価している。  |
| 委員                              | ・市外業者についての評価は出来ないということか。  |
| 事務局                             | ・今現在は日野市の業者で総合評価を実施しているため、市外業者の評価について考慮されていない仕組みだが、今後市外業者も参加できるようにした場合は、考慮する仕組みへ変更する予定である。  |
| 委員                              | ・変更を検討している箇所はあるか。   |
| 事務局                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事成績、優良請負表彰については、市内業者で実施することを前提としているので、市外業者を入れた場合でも評価できるような仕組みを検討している。</li> <li>・「ふだん着で CO2 をへらそう宣言」や「日野市災害対策協力会の活動」の項目は、他自治体で実施していない項目のため、検討していきたい。</li> <li>・また、男女共同参画の推進は、時代が変化し、どの企業も実施している項目になっているので、見直しを図りたい。</li> </ul>  |
| 委員                              | ・他の自治体のものを参考に実施していく予定か。   |
| 事務局                             | ・他自治体、東京都を参考にしていきたい。  |
| 委員                              | ・他の自治体の様式などは公開、提供してもらえるのか。  |

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 事務局                      | ・基本的には公開しているので、参考にできる。  |
| 委員                       | ・指定管理の評価で評価項目を非公開にしている自治体がある。   |
| 事務局                      | ・客観的な公平性の観点からも公表の方向で検討している。   |
| 委員                       | ・実際に作成して実施してみないと見えてこない部分はあるかもしれない。  |
| 委員                       | ・品質の評価をどう実施して、どう数値化するかは難しいながらも、   |
| 委員                       | ・日野市に入ってきた業者への考慮と評価のバランスも考えないといけない。<br>・せっかく日野市で事業を実施しているというメリットも大事。  |
| 委員                       | ・スケジュール的にも令和7年度1月までに内容を固めることが、厳しい部分があると思うが大丈夫か。   |
| 事務局                      | ・まずは、来年度第2回の監視委員会で諮ることを目標にし、業者への周知がどのくらいの期間が必要かも検討していきたい。   |
| 事務局                      | <p>&lt;委託&gt;総合評価方式について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度の入札で不調となって以降、令和4年度から未実施となっている総合評価方式の入札について、今後の方向性について検討していきたい。</li> <li>・現在の総合評価方式を見直して本格実施していくのか、委託への総合評価方式の入札は見送るのかを検討していく必要があると考える。</li> <li>・令和7年度に方向性を決めていきたい。</li> </ul> |
| 委員                       | ・ISOの取得は、費用と時間がかかるので、ある程度大きい企業ではないと取れないと思われる。取得については、自社では対応出来ないなので、専門の人に取得の手続きをお願いしていると思う。維持も難しい。   |
| 委員                       | ・ISOのこの項目があるので、評価項目が絞れているのかもしれない。<br>客観的に評価できる項目なので、評価はしやすい。  |
| 委員                       | ・支払賃金の確認はどのようにしているか。  |
| 事務局                      | ・計画書や報告書に基づいて確認している状況。  |
| 委員                       | ・試行時の令和元年、2年度は総合評価方式で入札して成立しているが、それ以降はどのような形で実施しているのか。  |
| 事務局                      | ・令和3年度は、事業者側の事務負担の関係から全者不参加で不調となり、それ以降は指名競争入札で実施している。   |
| 委員                       | ・総合評価方式を導入して、事業者から手が挙がらないと意味がない。<br>・低価格入札防止など、業者にとっても良い部分があると思うが、利益が低い中、事務負担は多いとなかなか手が挙がらない部分もあるのかもしれない。   |
| 事務局                      | ・令和7年度も引き続き協議をしていきたい。   |
| その他                      |   |
| (1) 工事案件の入札に関するアンケートについて |   |
| 事務局                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最近の工事案件の入札不調を踏まえ、市内工事業者へアンケートを実施。</li> <li>・今後アンケート結果を基に、入札制度の見直し、事業者との意見交換会を実施していきたいと思っている。</li> <li>・アンケート結果がまとめ次第、結果を共有させていただく。委員の皆様からもご意見をいただきたい。</li> </ul>  |